



アミール・ツアルファティ  
[2024年10月17日 ニュース速報]  
ヤヒヤ・シンワル死亡  
<https://youtu.be/jcCz31E3DcA>



みなさん、こんにちは。 シャローム。アミール・ツアルファティです。ガリラヤの自宅から生配信しています。さて...このニュースをどうやって切り出しているのかさえわかりません。私たちが現時点で理解している限りでは、ハマスの指導者ヤヒヤ・シンワルが抹殺された可能性が非常に高いです。でも、聞いてください！私たちは

彼を狙っていませんでした。ラファ地域で、イスラエル兵とどうやら3名のテロリストとの間で戦闘があり、一介のイスラエル兵が迫撃砲を発砲し、テロリスト3名を殺害、彼が、彼らの遺体に近づいてみると、信じられないことが起こっていました。そのうちの1人が、ヤヒヤ・シンワルに100%酷似していたのです。彼は写真を何枚か撮って指揮官に送り、その指揮官もビックリして最高司令部に送りました。そして、今現在進行していることは、確認のために、何らかの形でその遺体からDNAを採取しようとしているところだと思います...私たちは、シンワルの医療記録をすべて所有していますから。シンワルはイスラエルの囚人だったことがあり、イスラエルの病院にいたこともありました。したがって、私たちには正確にわかるのです。写真は...まるでAIのようです。つまり、完璧に彼の容姿です。だからこそ、私を含めて多くの人が、それは本物ではないと思ったのです。しかし、どうやら本物のようです。私たちはシンワルを殺そうとあらゆる努力をしてきたのに、どうやら、誰かが誤って彼を殺したようです。「誤って」ではなく、「偶然に」です。狙っていませんでした。現時点では、繰り返しますが、写真を調べてみると...これが私には信じ難かった理由で、写真は100%彼のように見えました。それで、私は、それはAIによって作成されたものに違いないと思いました。なぜなら、彼そのものだったからです。ほら...彼はなぜ、トンネルから外に出て、ラファを歩き回ったりしているのか?まあ、どうやら、高い可能性で、彼はもう、トンネルに留まっていることができず、外に出てきて、そして、ついに...なぜなら、イスラエルはアメリカと世界の意向に反してラファにいますか

ら。覚えていますか？「ラファに注目」私たちは、そこにいるからこそ、彼を抹殺したのです。皆さん、繰り返します。ハマスの指導者ヤヒヤ・シンワルが偶然に抹殺されました。偶然と言うのは、彼は IDF によって抹殺されましたが、私たちはそれが彼だとは全く思わなかったからです。繰り返しますが、テロリストとの対峙で発砲することはよくあって、今回もその一つです。それが、どうやら、3人の死体を調べてみると、そのうちの1人が彼だったようです。あらゆる装備、インフラ、衛星、諜報活動など、あらゆる労力を注ぎ込んできて、迫撃砲を発射した一介の兵士がハマスの指導者の命を絶つなどと、誰が想像したでしょう。

今、私たちはまず第一に、それが確認されることを望んでいます。そして私たちの希望は、ガザの人たちが拉致被害者全員を解放する時が来たことをついに理解することです。私たちは彼らに十分な報酬を提示して、このガザの武勇談を終わらせたいと思います。もうその時です。これは神業です。もう一度言いますが、皆さん、今、視聴開始したばかりの方がいれば、士官でも特殊部隊でも何でもなし、一人のイスラエル兵、指揮官学校の士官候補生だった、ありきたりの一人の兵士が、ラファでのテロリストとのありふれた銃撃戦で迫撃砲を発砲し、偶然に、ハマスの指導者であるヤヒヤ・シンワルを殺害しました。繰り返しますが、私が偶然と言うのは、これは、彼の殺害に狙いを定めた暗殺ではありません。ナスララやムハンマド・デイフの時のような80トンの爆発物ではなく、実際に、たった一発の迫撃砲弾でした。ですから、皆さん、繰り返しますが、いよいよです。驚くべき、すごい、すごいニュースです。戦争が始まって以来、最高のニュースだと思います。高い可能性で、ヤヒヤ・シンワルが殺害されました。繰り返しますが、驚くべきことは、その衝突の際、私たちは彼を殺すつもりではなかったことです。私たちは、それが彼だとは全く知らず、普通のイスラエル兵が、迫撃砲で3名のテロリストを殺害するという一つの衝突にすぎませんでした。しかし、彼がその遺体を調べに行くと、それがヤヒヤ・シンワルだったのです。ちなみに、写真は私のテレグラムチャンネルにあります。そここで見ただけです。正直に言うと、私はそのニュースを最初に聞いたとき、疑っていました。私は疑っていましたが、どうやら今は誰もが真剣に受け止めているようです。なぜなら、このニュースは確かに...真に受けとるべきです。

はい。皆さん、ありがとうございます。神の祝福がありますように。このニュースの拡散をお願いします。さようなら。



アミール・ツアルファティ テレグラムチャンネル

ビホールド・イスラエル 日本語チャンネル

<https://www.youtube.com/@BeholdIsraelJapanese>

日本語の聖書箇所は特記がされていない限り新改訳 2017 より引用しています。

聖書 新改訳 2017©2017 新日本聖書刊行会

メッセージの無断転載を固く禁じます。

Copyright © ビホールド・イスラエル All Rights Reserved.

---

